

令和4年4月7日

公益社団法人日本PTA全国協議会
会長 清水 敬介 様

京都市PTA連絡協議会
会長 大森 勢津

公益社団法人日本PTA全国協議会幹部が京都市教育委員会幹部と
意見交換されたことについて（質問）

平素は京都市PTA連絡協議会（以下、「市P連」という。）の活動に対し御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、市P連では、公益社団法人日本PTA全国協議会（以下、「貴会」という。）との関係の在り方について検討を進めてきたところ、市P連理事会（令和4年3月2日開催）において、貴会からの退会を提案し、市P連ホームページにて公開をしました。

このことについて、貴会から市P連会長に対し、何ら連絡等はなかったところ、京都市教育委員会幹部のFacebookに以下の記事が掲載されました（当該記事には、寺本充元会長が「超いいね」を付されています。）。

「日本PTA全国協議会の寺本充・元会長と金田専務理事、青羽常務理事がお越しになり懇談。教育次長の時に、京都教育大学経営協議会委員を寺本氏と共にしており、18日も同会出席の前に久しぶりに会いに来て下さいました。全国のPTAの声を文部科学省に届け、国の最新情報や各地の先進的取組を地域に届ける日Pの役割の重要性等について意見交換させて頂きました。」（3月18日19:34）

このように、貴会幹部が、今般の市P連会長による退会提案について認識した上で、京都市を訪問しているにもかかわらず、市P連会長には一切の面談を求めること等もなく、京都市教育委員会幹部とのみ懇談されていたこと、また、このことについて本日（4月7日）まで一切連絡等がないことは、京都市の全PTA会員を蔑ろにするものであり、非常に残念に思います。

ついては、事実関係を明らかとし、市P連理事会（4月15日開催）における協議の際に情報共有するため、下記の事項について、4月13日迄に市P連事務局宛て文書にて回答願います。

なお、本質問は公開するものとし、いただいた回答文書については、上述理事会において資料として机上配布するとともに、追って市P連ホームページに掲載することを申し添えます。

記

1 当該協議会には秘密で教育委員会幹部と意見交換するという手法について

- (1) このような手法について、貴会の考え方をお教えてください。なぜ市P連には秘密で教育委員会幹部と意見交換し、その結果も知らされないのでしょうか。
- (2) 貴会のどのような意思決定プロセスによって本意見交換を実施されたのか、貴殿（貴会会長）の関与に言及しつつお教えてください。
- (3) このような手法は、貴会にとって常態的なものでしょうか。過去同様の手法を取られた例をお教えてください。

2 当該意見交換の具体的内容について

日時、懇談の会場、発言者名とその発言内容についてお教えてください。

3 「公益社団法人日本PTA全国協議会からの退会について（提案）」について

市P連会長による本提案に対する貴殿（貴会会長）の御見解をお教えてください。

4 旅費交通費の扱いについて

貴会幹部がこのような動きをされていることについて、少なくとも協議会代表者には、何ら知らされていません。ついては、令和3年度において貴会から寺本充元会長、金田専務理事及び青羽常務理事に対して支出が決定あるいは予定されている旅費交通費の全てを、行き先ごとにお教えてください。

5 「顧問会議」あるいは「顧問会議委員長」なる組織・肩書きについて

国立大学法人京都教育大学のホームページによれば、同経営協議会の学外委員として「寺本充（公益社団法人日本PTA全国協議会顧問会議委員長）」との記載があります。しかしながら、「顧問会議」あるいは「顧問会議委員長」なる組織・肩書きについて、貴会ホームページや総会資料には、何ら記載がありません。また、少なくとも協議会代表者には、何ら知らされていません。

ついては、「顧問会議」あるいは「顧問会議委員長」なる組織・肩書きとは如何なるものか、「顧問会議」の全体像、全構成員、設置根拠を含めお教えてください。

また、貴会ホームページや総会資料に記載のない、関連組織がありましたらお教えてください。

以上